

DCアンプの世界的権威 **金田明彦と聴く本当のレコード音楽**

(サブタイトル ～ 自作DCアンプで聴く時空を超えた音楽会)

DC FLASH

金田明彦先生来冠

メンバーからのお便り

志甫 瑞夫
吉田 敏光



プロローグ

金田明彦先生のリスニングルームでレコードを聴きたいとの思いから、去る9月13日お宅にお伺いしたところ、素晴らしい音楽を目の当たりにし、何も言葉がでませんでした。今まで聴いたことのない音。底域が出るとか、中域が良いとかというレベルではないのです。

生の演奏会でもそうだと思うのですが、楽器と会場の全体が奏でる心地好い音楽を聴けるのが楽しみで演奏会場へ足を運ぶのではないのでしょうか。そのような感覚で音楽を楽しむことができました。10月のオーディオフェアの諸準備でお忙しいところ、時間を割いての対応ありがとうございました。

さて、あの音楽を聴いてしまうと、自分もマルチシステムかな？ しかし、今のシステムと呼べるかどうかの代物ですが、もう少しじっくりまわしたい。色々な思いが輻湊する中で、私は10月2日にはDCFETマイクを製作したところです。生の録音をしたいという思いからですが、音の入口である録音系に染りそうです。次は、ターンテーブルに決まっていますが、パーツが全部揃っていないため今年中に出来れば良いと思っています。趣味に期限はないので、慌ててはいませんが、、、作り出すと忙しくなるのは私だけではないでしょう。

(Y. H)

お知らせ

金田明彦先生が、次の日程で新冠に参ります。お繰り合せの上、多数参加されますようお願いいたします。

1. と き 平成6年11月5日 (SAT) 10:00~16:00~?
2. ところ 新冠町民センター 1F 第一会議室
3. 内容 10月16日池袋サンシャインシティで開催されたオーディオフェアの

最終日に金田先生が出展発表した、6C33C-Bの電源トランスのない真空管DCアンプを持込むことが出来る予定です。

きっとトランスレス真空管アンプはオーディオ・シンドロームになることでしょう。そんなホットなアンプと関連する話題を聴くことの出来るチャンスはめったにないでしょう。

①金田明彦クリニック

DCアンプの製作に関連した色々なご相談に応じます。普段疑問に思っていることなど些細なことでもよろしいですから、是非お気軽においでください。

なお、製作したアンプ等も持込み下さい。

②金田明彦実験室

完全対称トランスアンプを電池で駆動するとこんな音になる。

MJに未発表のお楽しみコーナー

新冠の子どもたち（消防ジュニアドラムクラブ）が、10月16日、札幌で発表会があり惜しくも3位でしたが、この演奏をDCマイクで録音したものを聴くコーナーもあります。

③金田明彦講演（トーク）& 試聴会

楽しいトークと終わりのないレコード音楽会

参加者は聴きたいレコードを1枚持参することが義務付けられます。?? (^o^)

☛ 翌日は日曜日、夕食会を開催してはいかがでしょう。

スピーカーシステムは、前回同様JBL4344を用意予定。

(①②は適宜進行していますから、随時ご参加ください。)

4. 参加料 無料です（昼食を必要とする方は、適宜ご負担下さい。)

5. 申込先 059-24

北海道新冠郡新冠町字本町

夢クラフトの会事務局 湯川 剛

勤務先 Tel 01464-7-2111 (新冠町役場)

Fax 01464-7-2600

(準備の関係から、参加に当たってはご予約を必要とします。)

自作DCアンプで聴く時空を超えた音楽会

情報としては、少し古くなりましたが、この様なこともやっているよ。」という気持ちからお伝えします。

主催：夢クラフトの会

1. と き 平成6年7月31日 (SUN) 13:00~16:00

2. ところ 新冠町民センター 1F 第一会議室

3. 内 容

①第1回金田式DCアンプの製作会と講演・試聴会（6年5月14~15日 新冠町民センター）の折に参加した方々のアンプの比較試聴会を楽しく開催。..

②スピーカーシステムは、前回同様JBL4344を用意した。

4. 製作メンバー

札幌市東区北47条東3丁目3-20 工藤 元義 メインアンプ
江別市緑町西1丁目57 兼田 忠司

静内町古川町 味のみき	古川 一嘉 メインアンプ
新冠町字北星町	中川 正巳 同
新冠町字中央町	渡辺 博志 プリアンプ
静内町御幸町	大山 慎司 メインアンプ
新冠町字本町	川戸 一彦 プリアンプ
新冠町字本町	湯川 剛 同

5. 出席者

古川 一嘉
 中川 正巳
 渡辺 博志
 川戸 一彦
 湯川 剛
 森 孝光 (空知郡栗沢町字北幸穂137-2)

6. MJ94, 6月号のA級50W FETアンプを製作しました。当日の試聴会に調整が間に合ったので、そのパワフルで芯のある低音が魅力との事前評価もあったのだが、JBLとの取り合せが良くなかったのか、思ったような鳴りかたをしてくれなかった。しかし、自宅では力強く頼もしい音楽を聴かせてくれた。満足!

メンバーからのお便り

小さな薬屋のオヤジです。DCアンプはNo2よりの愛読者です。54歳になりました。金田先生には、大阪にいらした折に2度お話を聞かせていただいています。汽車のテープはいまだに耳に残っております。A30W、A50W、AB180W、AB80Wなどを経て、今は電池のプリメインでアメリカの艶歌、カントリーとJazzを聴いています。

582 柏原市国分西2丁目2-35

玉手山薬局 志甫 瑞夫

(PS・・・先日、志甫さんのご長男の傳一郎 [十和田市] さんが、新冠に来られ「レ・コード館」推進室で収集したレコードを手手にDCアンプで聴かれて行きました。)

お便りは、是非ワープロ・パソコンのテキスト形式でお願いします。杉並区の毛利忠晴さんからは、マッキントッシュのフォーマットならという内容ですが、異機種の場合はパソコン通信でお願いします。

PC-VAN ID ZVA09433 (週に数回アクセス)

NIFTY ID PFB00035 (あまりアクセスないのでメールアップした場合は乞うご連絡)

Network HANGAN-NET 01464-7-2280(MNP5 19200bps) 町の活性化していないネットなのでよろしくパソコン通信による情報交換も試験運用中です。

吉田さんのお便りは次頁に掲載します

059-19 勇払郡追分町本町5丁目84

吉田 敏光

(吉田さんは、先日ひょいと新冠に来られ、色々DCアンプには造詣が深いご様子、その一端をお聞かせ頂きました。そういえばMJ11月号にも2N5465を求める書込がありましたね。)

私が、始めてDCアンプを知ったのは、1979年に書店で見付けた“改訂版最新 オーディオ DCアンプ”によってです。その内容が、音質について、良く検討され、設計されていたので、すぐに、テクニカルサンヨーからパーツ一式を購入して、A級30Wを作りました。どのメーカー製からも得られない求めていた音が出て、驚いたことを今も覚えています。その後、DCアンプシリーズとして、毎月のようにMJ誌に発表されていることを知り、MC専用プリを作り、ノイズの少なさと情報量の多さに驚きました。次ぎに作ったのが、矢型のDCマイクです。これも、金田先生の書かれているとおり、“望遠で顕微鏡的”という表現が最も適切で、素晴らしいものでした。従来方式で録音がうまくいかないのは、マイクが難聴すぎたのが、その最大の理由ということも示すものでした。当時は、毎月のように発表されていたので、パーツを発注し、音質比較をするのも大変でした。金田先生の設計と製作の早さに驚くばかりでした。

金田先生のアンプが他の筆者と大きく異なるのは、一つの目標に向かっている発展型アンプであるということです。そのうえ、他の人には無いことですが、発見したものほとんどすべてを発表し、以前の誤りも訂正してくれて好感が持てます。

金田先生のお宅へは、2度、行きました。とても心よくもてなして下さいましたことを今もって忘れることができません。最初は、84年でリスニングルームを建てられたばかりの頃です。2度目の時は、完成したテレコで、完全なDC録再システムでしたので、DCアンプ理論の正しさを示す、ノイズが全くないうえに、ダイナミックレンジが広く、情報量の多い、演奏会以上の音（良いホールで耳の良い人に聴こえるような音？）でした。それに比べるとレコードの音は、歪みが多く、薄っぺらな音で、自宅で聴く音と同じかそれ以下なので、拍子抜けしました。

オンケンのSPは、正しい音を出す、あらゆる音を出せるSPですので、アンプ内のパーツの一つの交換であっても、違いを正確に描き分けるものです。オンケンの小泉さんにも無料で改造していただいたり、お世話になりました。

また、私がトランジスターのDCアンプを作り始めた時から、そのほとんどが入手難でした。現在、音楽を聴けるのもMJの読者のお陰であり、トランジスターは、MJ誌の読者からそのほとんどを購入しました。網走の方には、DCマイクケースを作っていただきました。静岡の方には、パーツの外、外盤LPの購入まで今もってお世話になっております。多くの方にお世話になりました。

エピソード

だんだんと寒くなります。北海道はもう朝に夕にストーブが恋しい季節です。反面、INDアライブともなると、勢い皆さんのオーディオライフが益々研ぎのかかったものになる時期でもあると思います。冬は半田コテを握るに限ります。

今回の楽しい音楽会などについて、ご意見ご要望がありましたらお早めにお寄せ下さい。

天井ホーンを見上げたところ アルテック 片チャンネル4 計8

最近のフンプ群とSP10

スピーカー側から見たリスニングポジション

メインスピーカーシステムと金田先生

